

施策 6 学びを支える教育環境の整備・充実

重点施策

指標1	【項目】 大規模改造工事進捗率		【説明】 市立小・中学校の大規模改造工事の進捗率					
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	
	%	68.6	69.0	69.9	74.9			100
担当課評価								
【担当課】 教育財務課								
指標2	【項目】 トイレ改修工事進捗率		【説明】 市立小・中学校のトイレ改修工事の進捗率					
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	
	%	32.5	35.0	38.0	39.3			50.0
担当課評価								
【担当課】 教育財務課								
指標3	【項目】 小学校における学校図書館図書標準達成率		【説明】 各市立小学校における学校図書館図書標準の平均の達成率					
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	
	%	92.5	93.8	93.4	93.7			100
担当課評価								
【担当課】 教育指導課								
指標4	【項目】 給食がおいしいと感じている児童生徒の割合		【説明】 市立小学校6年生及び市立中学校3年生のうち、給食がおいしいと感じている児童生徒の割合					
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	
	%	—	—	84.2	85.5			100
担当課評価								
【担当課】 学校給食課								

施策 6 学びを支える教育環境の整備・充実

指標5	【項目】 放課後児童支援員の資格を有する職員の割合			【説明】 市立学童保育室で、放課後児童支援員の資格を有している職員の割合				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	68.7	78.2	80.3	87.4			90.0
担当課評価								
【担当課】 教育財務課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・放課後児童支援員の基礎資格を有している者が速やかに認定資格研修の受講ができるよう、計画的に受講枠を確保し、有資格者数の割合を増やすことができました。 ・今後も、目標の達成に向け、計画的に取り組めます。 								

施策 6 学びを支える教育環境の整備・充実		総合評価
		A
総合評価について	進捗は順調であり、評価も良好ですが、施設や設備について、依然として老朽化への対応や社会状況の変化への対応を課題として捉えている施策が多くあります。そのため、利用者の視点を意識しながら、安全や施設自体の維持に関わるものなど優先順位をつけ、引き続き、計画的に改修及び修繕に取り組んでいく必要があります。	

学識経験者等	<ul style="list-style-type: none"> ・指標1及び指標2のように工事の進捗率を挙げている指標は、昨今の資材単価の高騰や人件費の高騰が進捗に大きな影響を与えるものと考えますが、計画的な工事が実施できるよう適正な予算積算と予算の確保に努めていただきたい。 ・全小中学校の普通教室に設置した空調設備について、原油価格の高騰等によるランニングコストの上昇が見込まれるが、近年の猛暑への対策として空調設備を有効的に活用し、児童生徒の健康に配慮した良好な教育環境を提供していただきたい。 ・地場産物を活用した新メニューの考案を引き続き実施し、児童生徒が「おいしい」と感じる給食への取組を継続していただきたい。また、家庭科の調理実習で人気メニューを作るなど、児童生徒が実体験として経験することで、残食数の削減や食育へと繋がるものと考えため、一つのアイデアとして参考にしていきたい。 ・安全教育において、昨今の犯罪が多様化していることから、その時々状況に合った教育を行っていただき、子ども達の自分の身は自分で守るという意識を高めていただきたい。また、併せて保護者への連絡についても、遅滞なく届くよう努めていただきたい。 ・スクールガード・リーダーが高齢化しており人手不足の状況であることから、子どもへの安全教育を強化したり、通学路を見直しするなど、別の手立てを考えていく必要があると感じた。 ・川越市は水害が多いことから、引き続き地域に見合った防災教育を実施し、防災意識を高めていただきたい。
--------	--

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (1)学校施設の整備・充実

細 施 策	①小・中学校施設大規模改造工事の推進	担当課	関連指標
		教育財務課	指標1
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 「川越市小中学校施設整備計画」に沿って計画的に外壁改修や屋上防水の大規模改造工事を推進します。 「川越市小中学校施設整備計画」に沿って計画的に便器の洋式化や配管改修などのトイレ改修を推進します。 	その他の関連指標:指標2	
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事を実施 小学校3校、中学校4校 トイレ改修を実施 小学校2校 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事については、アスベスト対策などにより、工事費の増加や工期が長期化しています。また、学校からは2系統目以降のトイレ改修を望む声が多くあがっています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 工期が長期化することによる学校運営上の影響や、工事費削減が課題となっています。また、2系統目以降のトイレ改修については、整備方法の検討を行う必要があります。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事及びトイレ改修ともに、国庫補助を活用した財源の確保に努めるほか、工期の長期化による学校運営への影響を最小限に抑えるため、早期に学校との綿密な打合せを実施します。また、2系統目以降のトイレ改修については、整備方法の検討を行います。 		

細 施 策	②小・中学校重要設備の更新	担当課	関連指標	
		教育財務課	—	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 「川越市小中学校施設整備計画」に沿って計画的に耐用年数を経過した受変電設備等の重要設備を更新します。 			
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 受変電設備改修工事を実施 小学校2校、中学校1校 			
成果実績	項目名(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	受変電設備(校)	受変電 1校	受変電 2校	受変電 3校
	受水槽設備(校)	受水槽 1校	受水槽 2校	受水槽 1校
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要設備(受変電、受水槽、エレベーターなど)の老朽化が進行し、運転停止した場合、学校運営に大きな影響を与えます。 世界情勢の影響により、物流が不安定となっており、資材調達の遅延などが懸念されます。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定的な資材調達が課題となっており、特に電気関連の資材については年度内の資材調達が課題となっています。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 資材調達の情報に注視するとともに、電気関連の資材が安定供給されるまでは、受水槽改修工事を先行することや工期を2箇年に設定するなどの対応を検討します。 			

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (1)学校施設の整備・充実

細 施 策	③小・中学校空調設備設置の推進			担当課	関連指標
				教育財務課	—
施策の内容	・特別教室への空調設備の導入を推進します。また、屋内運動場への空調設備については、防災上の観点を含め様々な導入手法について検討します。				
令和4年度の主な実績	・特別教室空調設備設置工事を実施 中学校2校				
成果実績	項目名(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	特別教室空調設備設置校数(校)	—	—	2	
現状・課題	現状 ・熱中症対策として、早期に全学校特別教室の空調設備設置が望まれます。 ・令和5年度から令和7年度の3箇年で、屋内運動場への空調設備を設置します。 課題 ・小学校特別教室への空調設備設置が課題となっており、国庫補助制度の動向に注視するなど、必要な財源確保に努める必要があります。				
課題解決のための取組	・国庫補助や有利な地方債を活用することで財源の確保に努めるとともに、学校運営に支障をきたさない工期の設定等により、計画的な整備に努めます。				

細 施 策	④学校図書館の充実			担当課	関連指標
				中央図書館・教育指導課	指標3
施策の内容	・児童生徒の読書活動を推進するため、蔵書数を含めた魅力ある学校図書館の充実を図ります。 ・児童生徒の調べ学習及び読書活動推進等に向け、市立図書館から学校への図書貸出を推進します。				
令和4年度の主な実績	【中央図書館】 ・令和5年3月「第四次川越市子ども読書活動推進計画」策定 ・市立図書館から学校へ貸出した団体貸出図書数 小学校4,637冊、中学校205冊、高校448冊 ・小学校1年生及び3年生に対し、学級訪問を実施(小学校32校、113学級、3,384名参加) ・小学校3年生に対し、学級招待を実施(小学校2校、7学級、199名参加) 【教育指導課】 ・学校図書館図書標準 小学校 93.7% (前年度比0.3ポイント増) ・学校図書館図書標準 中学校 105.6% (前年度比0.9ポイント減) ・学校司書研修会の実施(年3回)				
現状・課題	現状 【中央図書館】 ・学校への団体貸出を行い、読書活動を推進しています。 ・学級訪問及び学級招待を実施し、読書活動を推進しています。 【教育指導課】 ・学校司書研修会を行うことで学校図書館の充実を図っています。 ・中学校においては、学校図書の計画的購入・廃棄により学校図書館図書標準を上回っています。 現状・課題 【中央図書館】 ・「第四次川越市子ども読書活動推進計画」に基づく子ども読書活動を推進する必要があります。 ・団体貸出図書数は令和3年度と比較して増加しましたが、貸出図書数をさらに増やす必要があります。 【教育指導課】 ・小学校においては、学校図書館図書標準を下回っています。 ・市立図書館から学校への図書貸出を推進することが必要です。				
課題解決のための取組	【中央図書館】 ・「第四次川越市子ども読書活動推進計画」に基づく子どもの読書活動を推進するとともに、学習指導要領に基づくカリキュラムに対応する図書等の購入に努めます。 【教育指導課】 ・市立図書館と市立学校との連携を推進し、図書館の図書の補完に努めます。				

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (2)小・中学校の適正規模・適正配置

細 施 策	①小・中学校の適正規模・適正配置等の検討	担当課	関連指標	
		学校管理課	—	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが社会で自立できる力を身に付けることを目標に、切磋琢磨して成長できる川越市立小・中学校の在り方を検討し、新たな教育環境を整えます。 川越市立小・中学校の適正規模・適正配置について、保護者や地域住民等の意向を把握した上で、児童生徒数の推移、及び、小学校での35人以下学級編制に基づく各学校における学級数を踏まえて基本となる方針を策定します。 策定した基本方針を基に、学校の分離・新設や統廃合等の可能性について、地域社会の意見を踏まえて協議します。 			
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 将来人口推計に基づいた、必要な学校数の検討 検討委員会 4回（5月、8月、11月、2月）実施 関係課と、各課で考える検討結果の具体案や課題を調査研究するための検討部会を2回開催 			
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	検討委員会の実施回数（回）	2	4	4
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校では35人の少人数学級編制を令和7年度まで順次進めることになっています。また、特別支援学級の新增設や特別教室の活用等により余剰教室の効果的活用が進む一方で、空き教室となっている学校もあります。学年の単学級化の進展が見込まれる学校もあります。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の統合の議論は、中・長期的な見通しをもって、地域の実情や人口動態、施設維持のコスト、教育的効果、防災、市全体の施設計画など、複合的な課題があります。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 10～30年後を見据えて、本庁及び各市民センター管内の地区ごとに調査・研究を進め、関係課との検討に取り組みます。 			

【施策の柱】 (3)学校給食の充実

細 施 策	①給食内容の充実	担当課	関連指標
		学校給食課	指標4
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心でおいしい給食を提供するとともに、栄養のバランスが取れた給食を提供します。 学校給食で使用する食材の安全確保に努めます。 地場産物の積極的な使用に努めます。 食物アレルギー対応食について、安全で確実な実施体制を保持し、内容の拡充を図ります。 		
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食の提供 190回 学校給食食材（青果）に占める地場産農産物の割合 24.4%（重量比） アレルギー対応食の提供 児童78名、生徒8名（R4.5.1時点） 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、急な学級閉鎖や学校行事の中止等がありましたが、適切に対応を図りました。 学校行事の中止により、通常授業となったことで給食材料の使用量が増加しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 原油高・物価高騰に伴い、学校給食食材の高騰が懸念されている中で、給食献立の工夫などを行うとともに、栄養価を踏まえた質と量が確保されたおいしい給食の提供が必要です。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 市政施行100周年記念事業で取り組んだ地場産農産物を活用した新メニューを引き続き提供するなど、伝統的な食文化についての理解や地場食材への興味を深めるとともに、食材価格の動向に注視し、献立作成に取り組めます。 		

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (3)学校給食の充実

細 施 策	②学校給食施設の整備				担当課	関連指標
					学校給食課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修と設備の修繕等を計画的に推進していきます。 今成学校給食センターは、運営の手法も含め、計画的な建替え等を検討していきます。 					
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設や設備の修繕等の件数 141件（学校給食課1件、菅間116件、今成24件） 「川越市立学校給食センター施設に係る関係課検討会議」を2回開催 「川越市教育委員会学校給食センターに係る関係課会議」を1回開催 					
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	施設や設備の修繕等の件数（件）	113	106	141		
現状・課題	現状					
	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な保守点検を行うとともに、計画的な施設設備の整備を実施しています。 					
課題解決のための取組	課題					
	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に学校給食を提供するため、施設や設備の状況を的確に把握する必要があります。 施設や設備の老朽化や今後の児童生徒数の推移、市の財政状況等を踏まえ、3つの学校給食センター機能を総合的に勘案し、今後の方向性を検討する必要があります。 					
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、継続して安全安心な学校給食の提供を行います。 関係課会議で3つの学校給食センターの今後の方向性について検討するとともに、現状把握と今後の改修費用の精査を行います。 					

【施策の柱】 (4)子どもたちの安全・安心の確保

細 施 策	①安全教育の推進				担当課	関連指標
					教育指導課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒、地域の実態に応じた安全教育を保護者・関係機関と連携し推進します。 児童生徒の安全確保のため通学路安全点検の実施、スクールガード・リーダーの配置等、地域及び関係機関等と連携・協働し、安全・安心の取組を推進します。 各学校で児童生徒を対象に、不審者に遭遇した場合の対応等、実践的な防犯教室を実施し、防犯意識の育成を図ります。 児童生徒を対象とした交通安全教室を関係機関と連携し推進します。 					
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> スクールガード・リーダー年間活動平均回数 219回 児童生徒の登下校の見守りのために青色回転パトロールカーによる巡回 60回 各学校からの通学路改善要望をとりまとめ、防犯・交通安全課に対応を依頼 65件 交通安全教育や防犯教育の実施 54校（市立小中学校全校） こどもの見守り講習会実施参加者数 80名参加 					
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	スクールガード・リーダーの平均年間活動回数（回）	227	256	219		
現状・課題	現状					
	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育や防犯教育を実施し、安全教育の推進が図れています。 関係課と連携を図り、通学路の整備がすすめられています。 					
課題解決のための取組	課題					
	<ul style="list-style-type: none"> スクールガード・リーダーの高齢化に伴い、なり手不足が発生しています。 					
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の交通事故が発生しないように、交通安全指導を継続的に行います。 各学校で、実践的な交通安全教室、防犯教室を実施していきます。 スクールガード・リーダーの配置のために、コミュニティ・スクールで議題にあげるなどし、地域人材を活用した効果的な見守り体制を構築していきます。 					

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (4)子どもたちの安全・安心の確保

細 施 策	②防災教育の推進			担当課	関連指標
				教育指導課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 地震や火災等を想定した避難訓練を各学校の年間指導計画に位置付け、児童生徒の防災意識を高め、発達段階に応じて自ら危険を回避する能力の育成を図ります。 各学校において、防災マニュアルを検証し改善するとともに、それらを的確に活用できるよう教職員の安全意識及び災害対応能力の向上を図り、日頃から児童生徒の命を守る防災体制の強化を図ります。 各学校の地域実態等を踏まえた、避難所運営・設営に係るマニュアルを作成し、地域と連携した災害対応体制の構築を推進します。 				
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の防災意識を高めるための避難訓練の実施 56校（市立学校全校） 地震や火災、水害等を想定した避難訓練の実施による防災マニュアルの改善 56校（市立学校全校） 				
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	防災マニュアルの改善実施校数（校）	—	56	56	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域全体での安全教育を実践している校区において、地域全体での安全体制の構築が図れています。 避難訓練等の実施が、児童生徒の防災意識を高めることにつながっています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域全体での安全教育に関わる実践事例を、全市立学校に周知する必要があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、研修会等で、地域全体での安全教育に関わる実践事例を周知し、児童生徒の防災意識のさらなる向上を図ります。 				

細 施 策	③学童保育の充実			担当課	関連指標
				教育財務課	指標5
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 就労等により保護者が常時留守になっている児童の放課後等の安全・安心を確保し、健全な育成を図ります。 放課後児童支援員及び補助員の確保及び質の向上を図ります。 学童保育室の整備、改修等を行い、保育環境の改善を図ります。 民間放課後児童クラブを所管する関係課と連携し、多様化する保育ニーズに対応するための保育手法や負担の在り方について検討します。 				
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初の学童保育室利用児童数 3,268名（全児童に占める割合：約19%、待機児童：0名） 狭あい化対応 拡張 2室、増室 2室 空調設備改修工事 4室 正規職員採用数 2名 放課後児童支援員認定資格研修の受講者数 20名 				
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 待機児童を出さずに対応できているという面では、おおむね順調に進捗していますが、入室児童数が年々増加しています。 約3分の2の施設が建築から20年以上経過しています。また、35人学級の実施や特別支援学級の増加に伴い転用可能な教室が減少しています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育スペース及び放課後児童支援員等の確保について課題があります。 老朽化が著しい施設の改修等を行い保育環境を改善する必要があります。 放課後児童支援員等の質及び意識の更なる向上が必要です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 狭あい化、老朽化した学童保育室について川越市総合計画実施計画に位置付け、余裕教室の転用、設備の改修等を行っていきます。 放課後児童支援員等の募集方法等を工夫し、その確保に努めるとともに、研修、業務のマニュアル化等により、質及び意識の向上に努めます。 民間放課後児童クラブの所管課（こども育成課）と情報交換を密に行い、連携を図ります。 				

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (5)教育センターの充実

細 施 策	①教育センター施設の整備・開放の充実				担当課	関連指標
					教育センター	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 教育センター、教育センター第一分室、教育センター第二分室の老朽化した部分等の緊急性や必要性を検討し、施設の改修と設備の修繕等を計画的に実施します。 教育センターは、教職員研修の施設として対面型・オンライン型の研修内容が充実するように、また地域に開かれた施設として利用しやすいように整備運営に努めます。 					
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 対面・集合型研修 174回 オンライン研修（同時双方向型・オンデマンド型） 81回 地域の方への施設開放利用者数 1階 11,633名 体育館及びグラウンド 18,543名 施設利用団体数 78団体 教育センター第一分室1階及び2階のエアコン改修工事を実施 教育センター3階男子トイレの修繕を実施 					
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	地域の方への施設開放利用者数（名）	21,677	26,545	30,176		
現状・課題	現状					
	<ul style="list-style-type: none"> 教育センター3階及び4階のLAN環境を整備するための準備をしています。 施設開放利用者は、年々増えています。 					
課題解決のための取組	課題					
	<ul style="list-style-type: none"> 教育センター施設の老朽化により、使用できない複数箇所のトイレや天井の雨漏りなど、早めの修繕が必要です。 教育センター1階や体育館の水回りに不具合があります。 					
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者が快適に利用できるよう、トイレ等の修繕を計画的に進めます。 教育センターの3階及び4階のLAN環境工事を行い、通信を利用した研修ができる環境を整えます。 					

細 施 策	②教職員・保護者・地域との連携研修の充実				担当課	関連指標
					教育センター	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒への対応や情報モラルの育成などの今日的な教育課題解決のために、学校や家庭・地域と連携した研修の充実を図ります。 					
令和4年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 「保護者と共に考える情報モラル研修会」回数 1回、参加人数 市立学校教職員54名、保護者60名 					
成果実績	項目名（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	保護者と共に考える情報モラル研修会参加者数（名）	82	114	114		
現状・課題	現状					
	<ul style="list-style-type: none"> 対面・集合型の研修において、教職員と保護者が情報モラルに関する課題について話し合い、問題意識や課題を共有し、解決方法を考えることができました。 					
課題解決のための取組	課題					
	<ul style="list-style-type: none"> SNSやインターネット環境の普及によるいじめや犯罪から児童生徒を守るために、教職員と保護者が連携し、課題解決に向けて取り組む必要があります。 					
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き研修会で教職員と保護者の意見交換の時間を設け、問題意識や解決方法の十分な共有を図ります。 情報モラル教育やネットトラブル・ネットいじめの未然防止教育を推進し、児童生徒が安心してインターネットを利用できる環境づくりに努めます。 					